

平成29年度保護者アンケートの結果

平成29年度保護者アンケートの概要

【目的】

品川区における教育施策の成果を検証し、より一層の充実を図る。

【対象者】

品川区立学校に通う全児童・生徒の保護者

【調査期間】

平成30年1月24日（水）から平成30年2月2日（金）まで

【調査方法】

質問紙調査（無記名）

【配布数および回答率等】

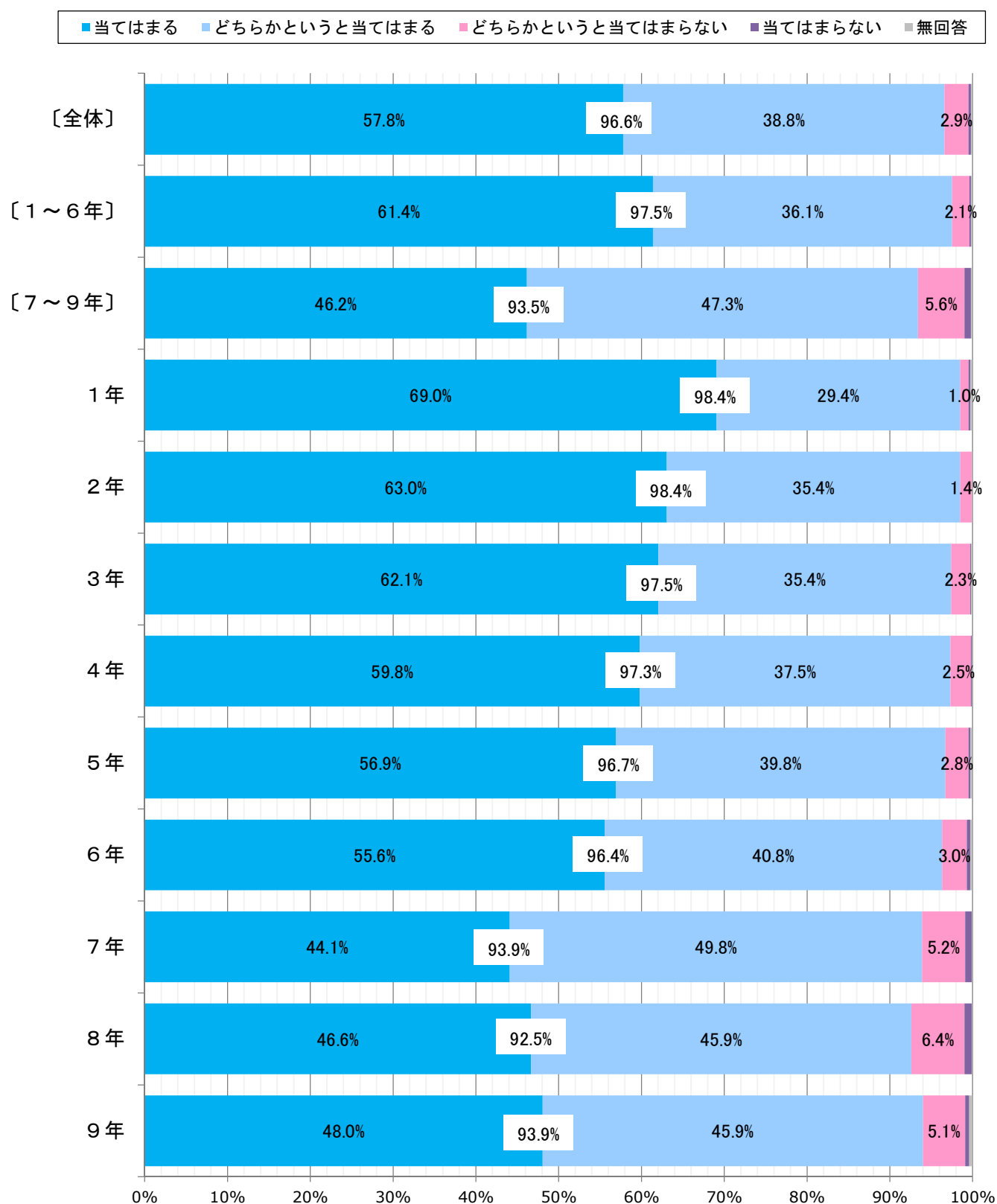
配布数 19,781 回答数 18,220（内、有効回答数 18,066） 回答率 92.1%

注記

1. 数値の表記のない項目は、1%未満である。
2. 回答比率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しているため、各回答における百分率の合計が100%にならない場合がある。
3. 表中の「義務教育学校」とは、「日野学園」「伊藤学園」「八潮学園」「荏原平塚学園」「品川学園」「豊葉の杜学園」の6校の合計である。
4. 表中の「小学校」「中学校」とは、それぞれ、前項の義務教育学校6校を除く小学校31校、中学校9校の合計である。
5. コメント欄内の「肯定的な回答」は、「当てはまる」と「どちらかという当てはまる」の合計である。

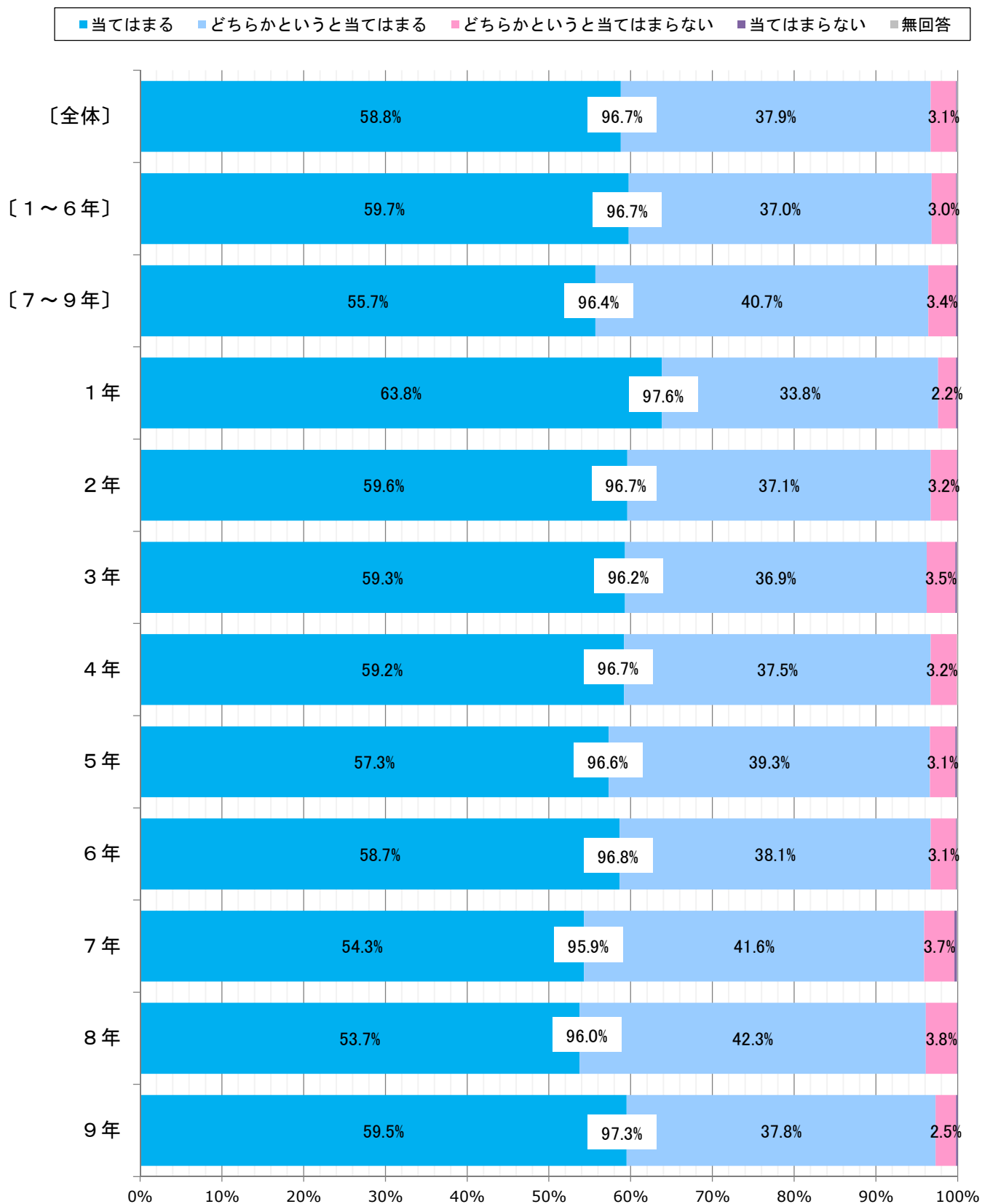
[A. 家庭における教育方針とお子さんの生活・学習について]

[1] 基本的な生活習慣を身に付けるようにしている。



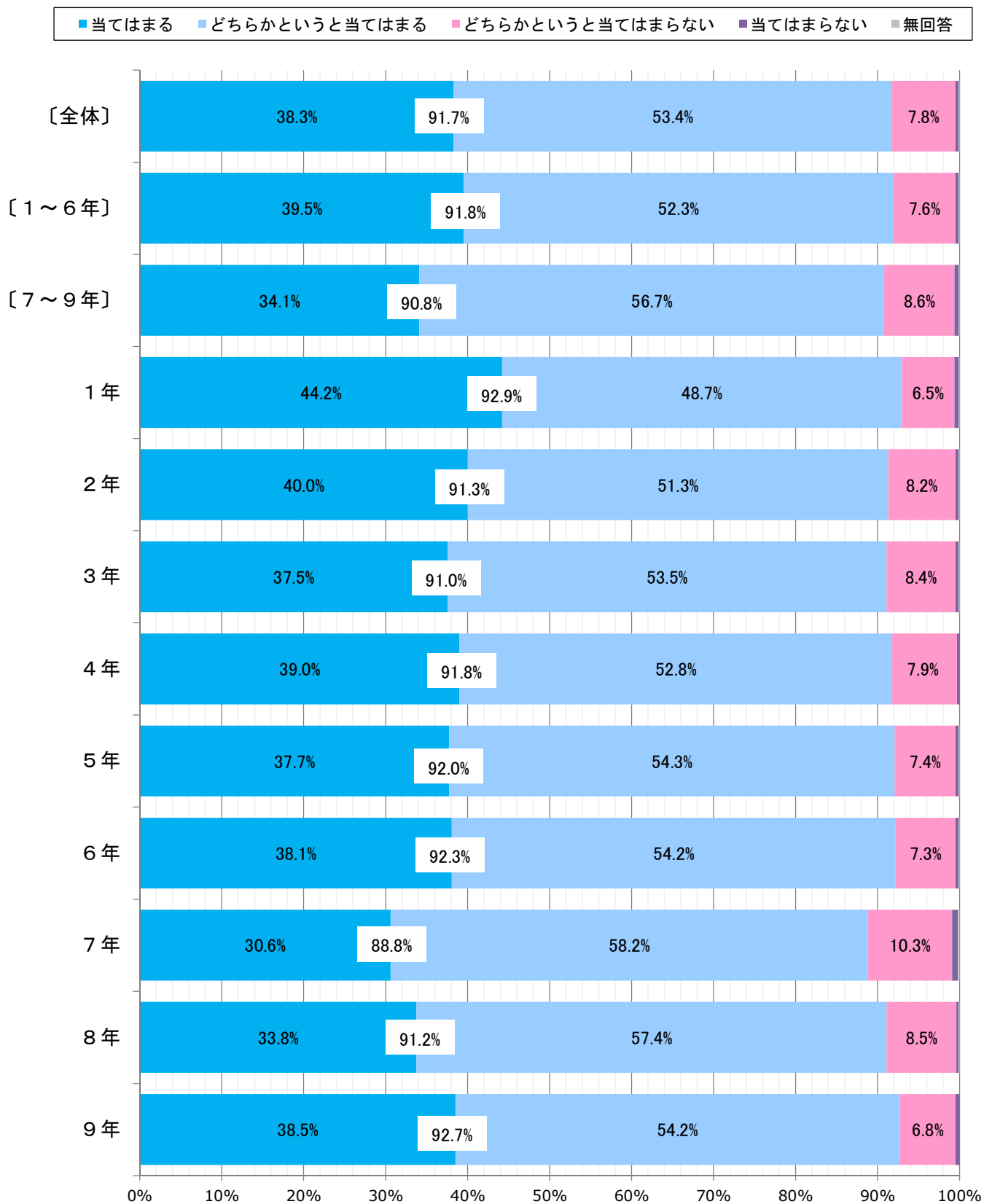
「基本的な生活習慣を身に付けるようにしている」と「肯定的な回答」をした家庭は、〔全体〕で96.6%であり、平成28年度の88.0%に比べ、8.6ポイント上昇した。全ての学年で「肯定的な回答」が90%を超えている。

[2] 挨拶がしっかりできているようにしている。



「挨拶がしっかりできているようにしている」と「肯定的な回答」をした家庭は、〔全体〕で96.7%であり、平成28年度の93.7%に比べ、3.0ポイント上昇した。全ての学年で「肯定的な回答」の割合が95%を超えている。

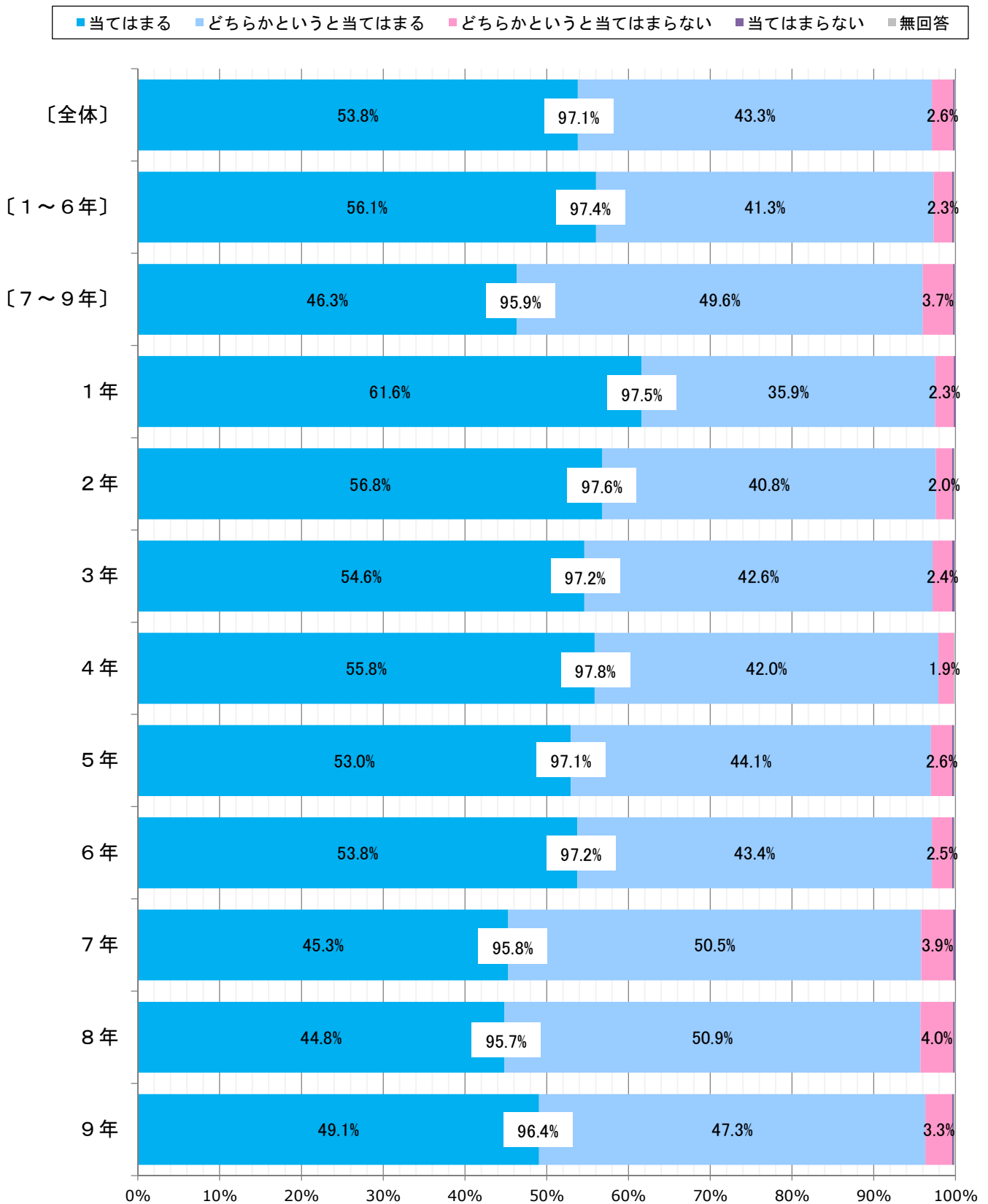
[3] 丁寧な言葉づかいができるようにしている。



「丁寧な言葉づかいができるようにしている」と「肯定的な回答」をした家庭は、〔全体〕で91.7%である。7年のみ90%を切っているが、それ以外の学年は、「肯定的な回答」の割合が90%を超えている。

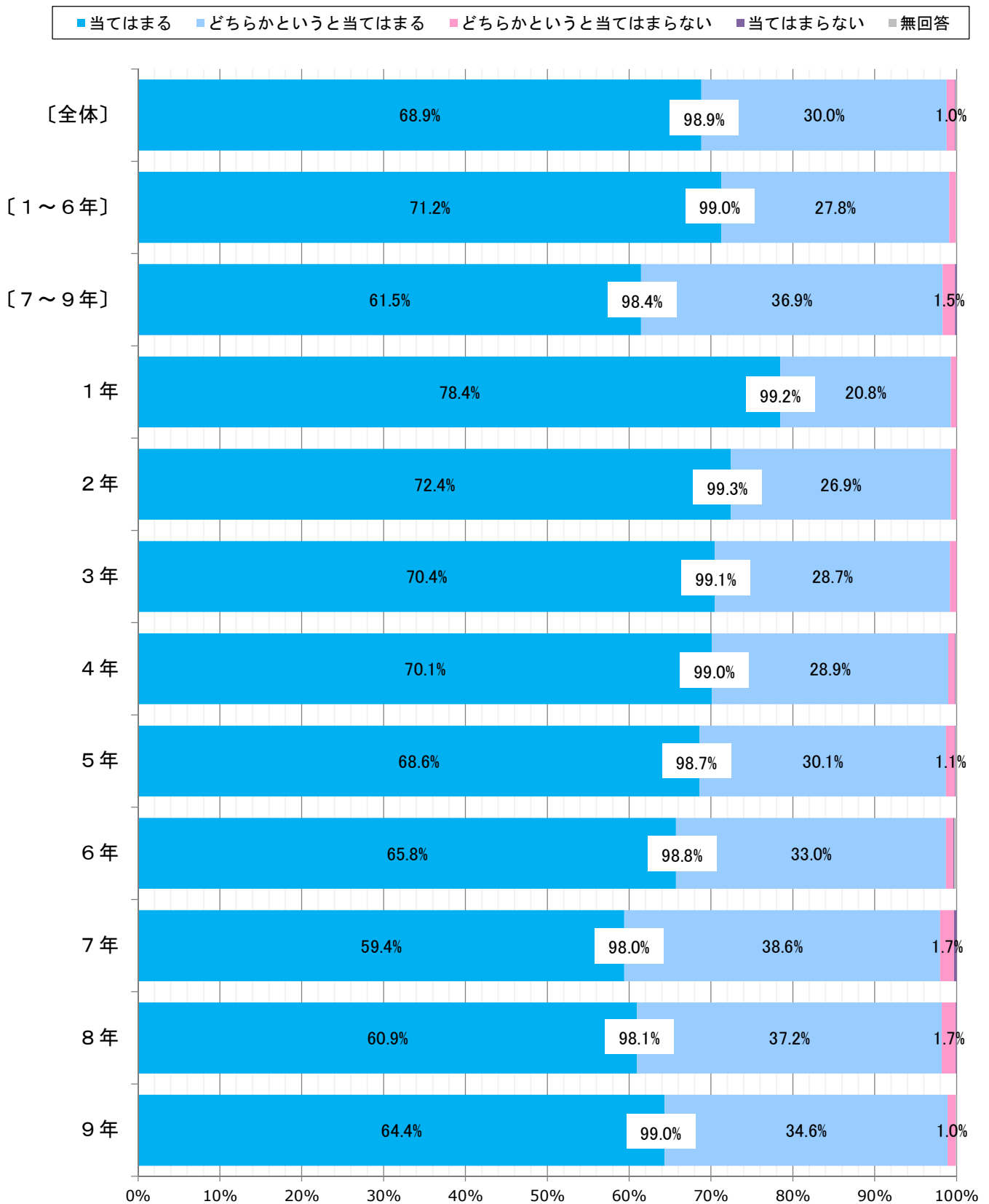
7年から9年にかけては、学年が上がるごとに「当てはまる」と回答した割合が増加している。

[4] 他者を尊重することの大切さを教えている。



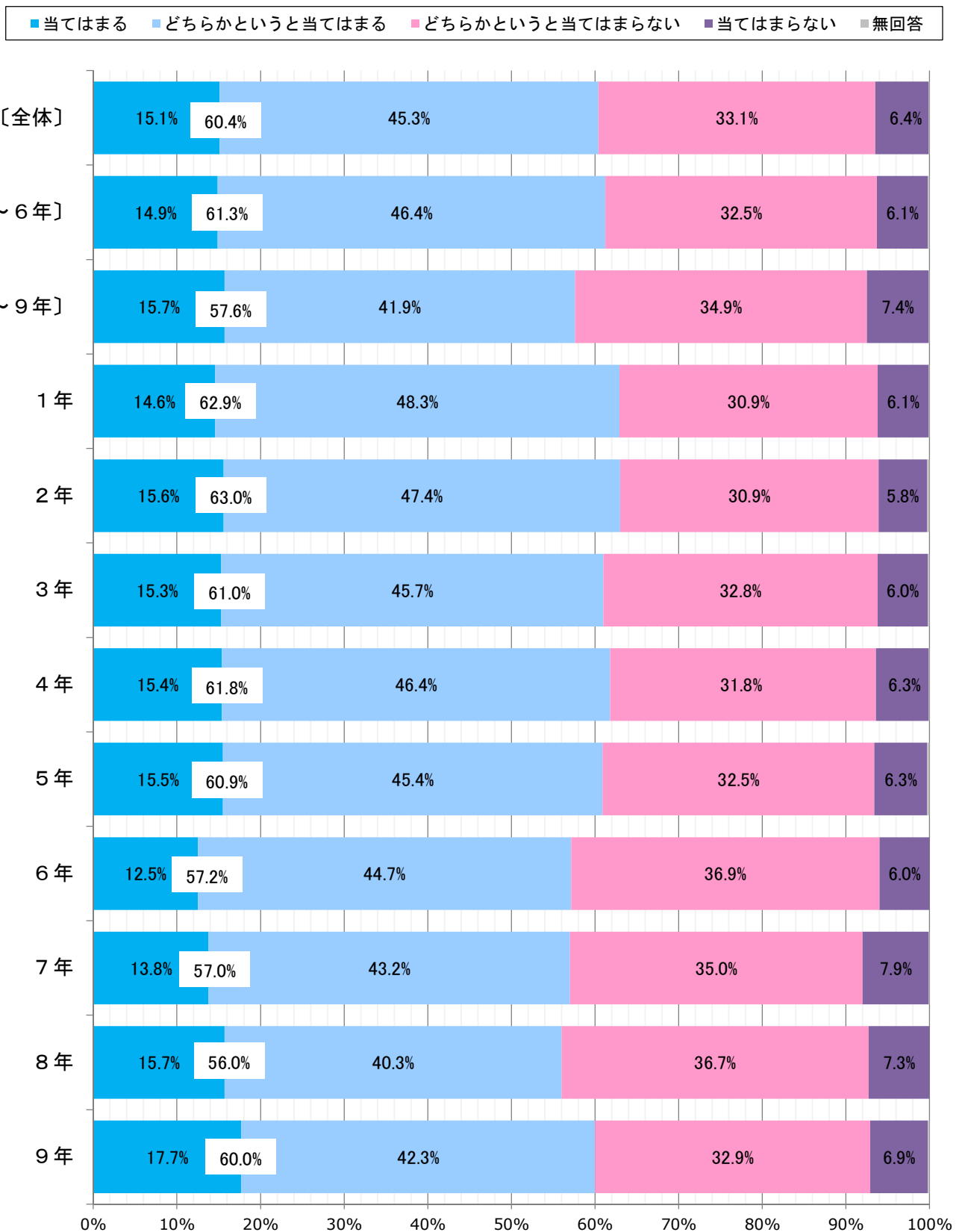
「他者を尊重することの大切さを教えている」と「肯定的な回答」をした家庭は、[全体]で97.1%である。全ての学年で「肯定的な回答」の割合が95%を超えている。

[5] 学校や公共のルール・マナーを守るようにさせている。



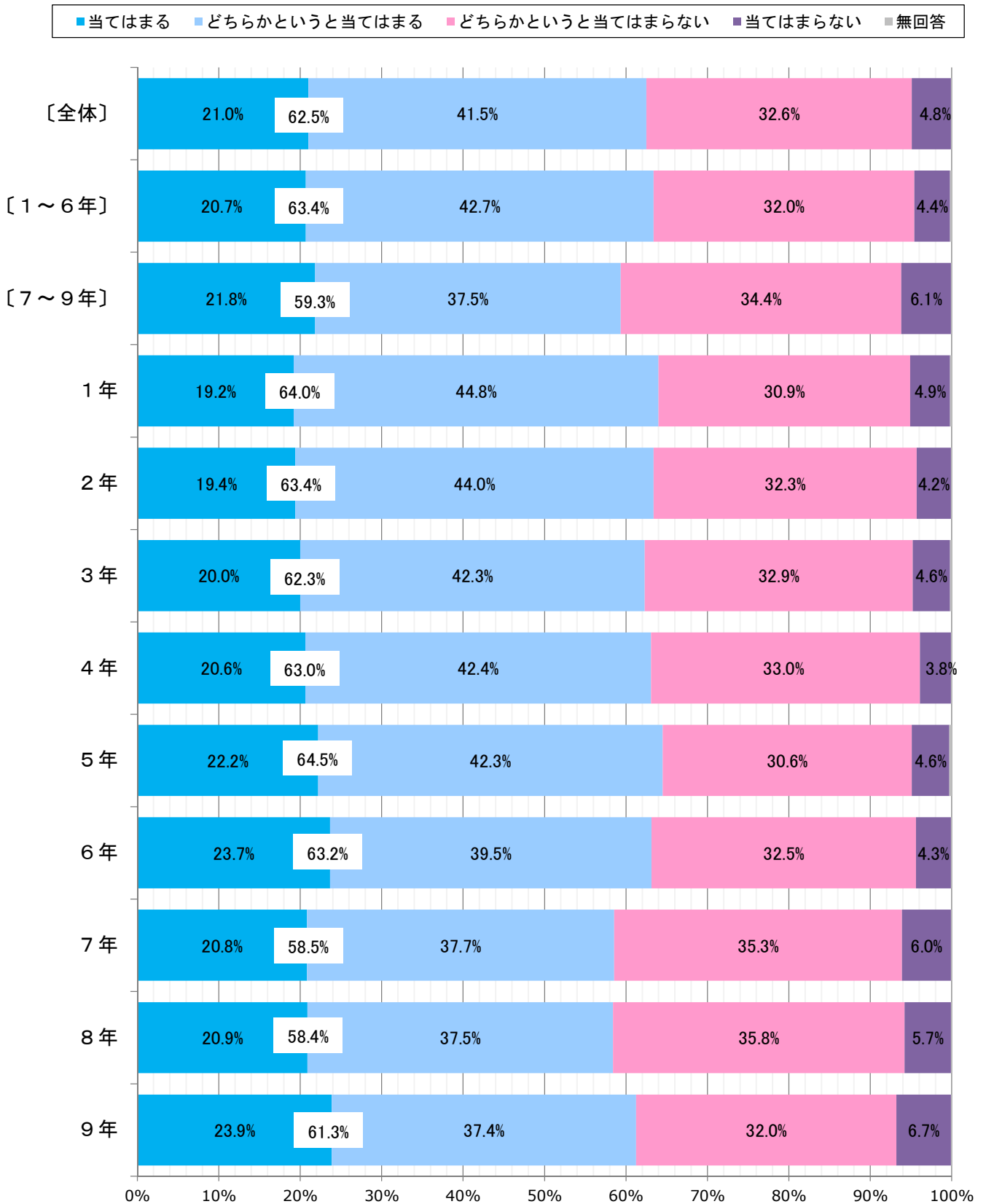
「学校や公共のルール・マナーを守るようにさせている」と「肯定的な回答」をした家庭は、〔全体〕で98.9%である（平成28年度 98.4%）。全ての学年で「肯定的な回答」の割合が98%以上である。

[6] 地域行事やボランティア活動に参加させるようにしている。



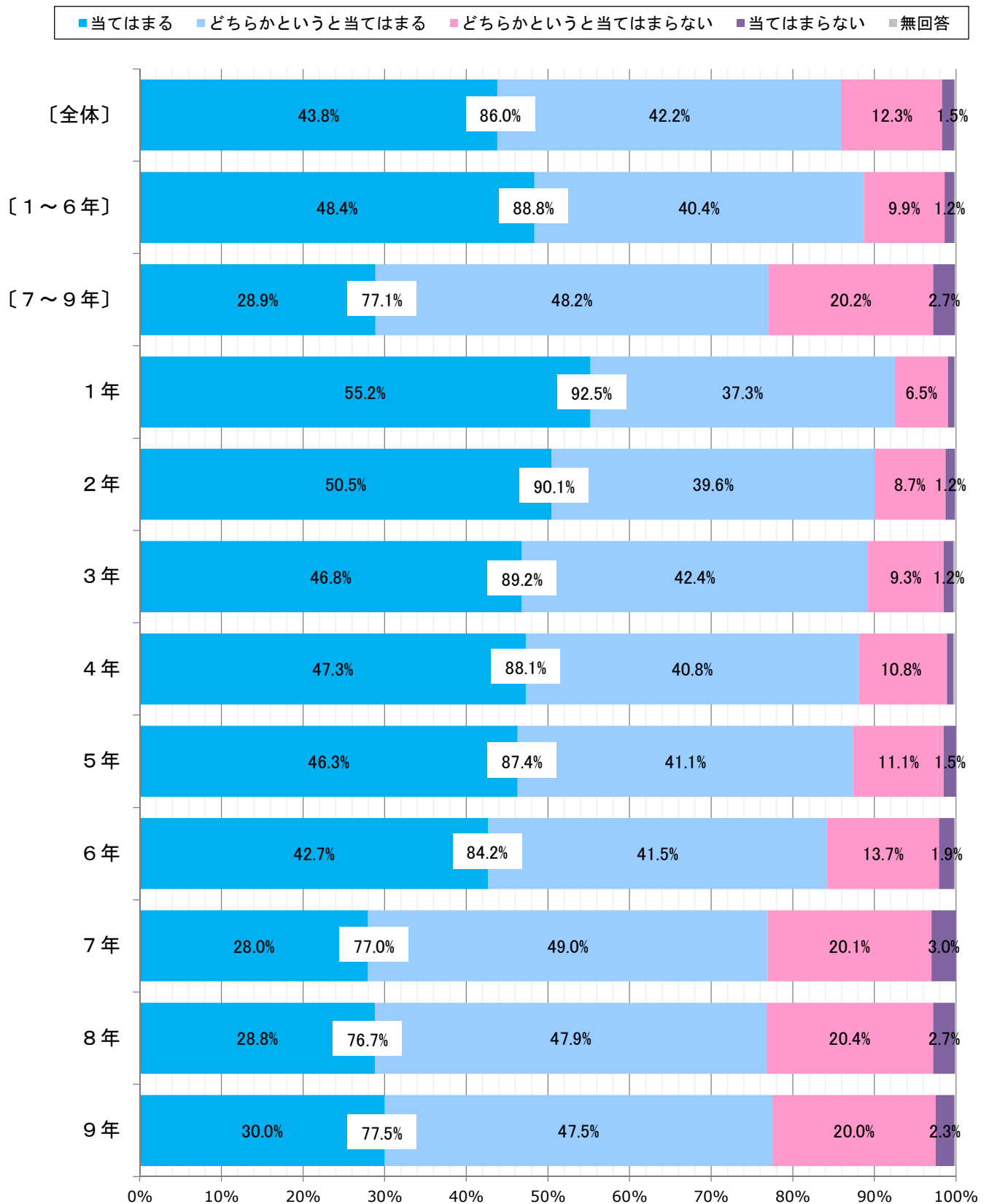
「地域行事やボランティア活動に参加させるようにしている」と「肯定的な回答」をした家庭は、〔全体〕で60.4%であり、平成28年度の47.9%に比べ、12.5ポイント上昇した。全ての学年で「肯定的な回答」の割合が55%を超えている。

[7] 子どもに家事を分担している。



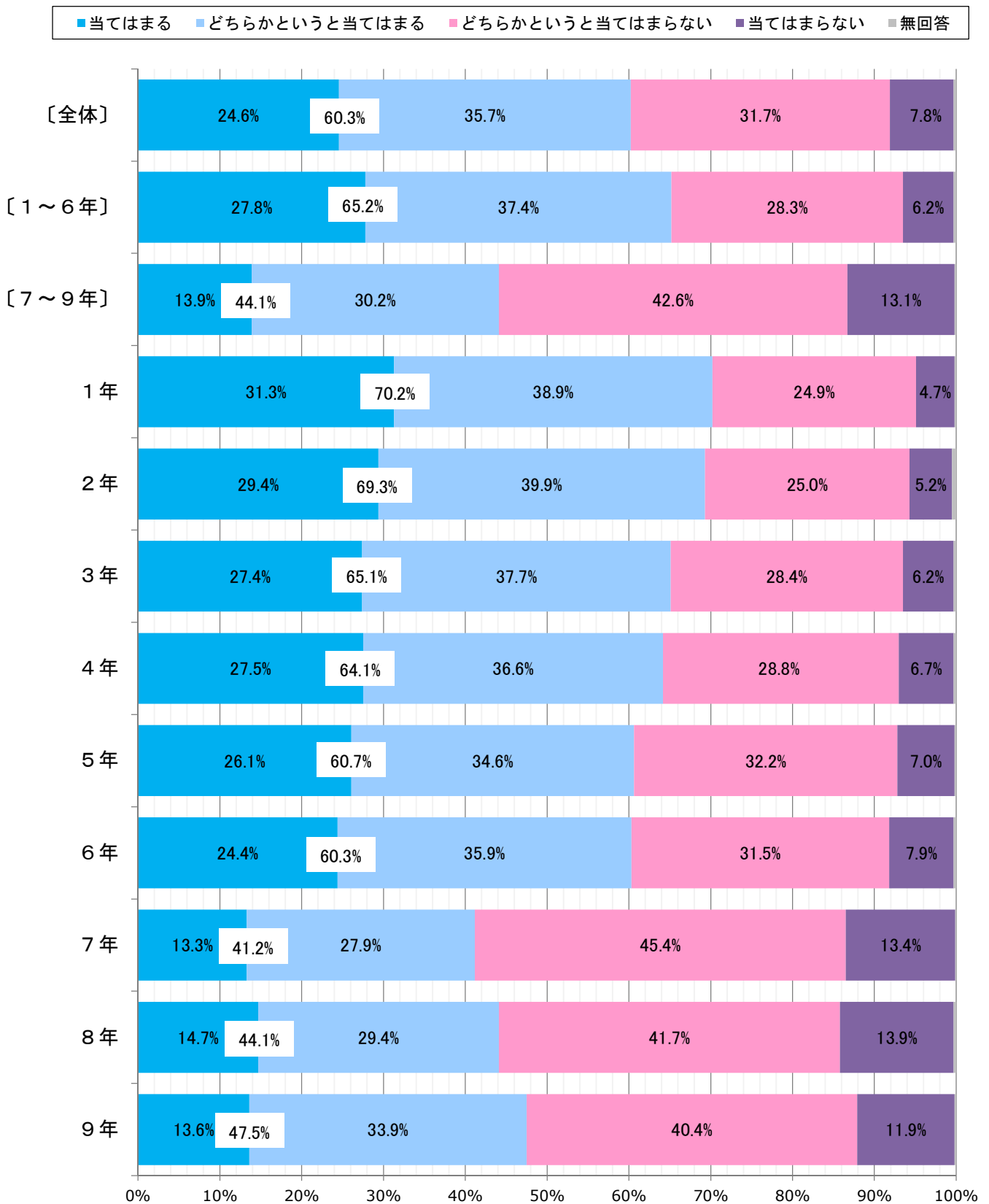
「子どもに家事を分担している」と「肯定的な回答」をした家庭は、〔全体〕で62.5%であり、平成28年度の58.0%に比べ、4.5ポイント上昇した。全ての学年で「肯定的な回答」の割合が58%を超えている。

[8] 家庭学習の習慣を身に付けるようにしている。



「家庭学習の習慣を身に付けるようにしている」と「肯定的な回答」をした家庭は、〔全体〕で86.0%であり、平成28年度の79.1%に比べ、6.9ポイント上昇した。特に〔7～9年〕における「肯定的な回答」の割合は、平成28年度よりも11.7ポイント上昇した。

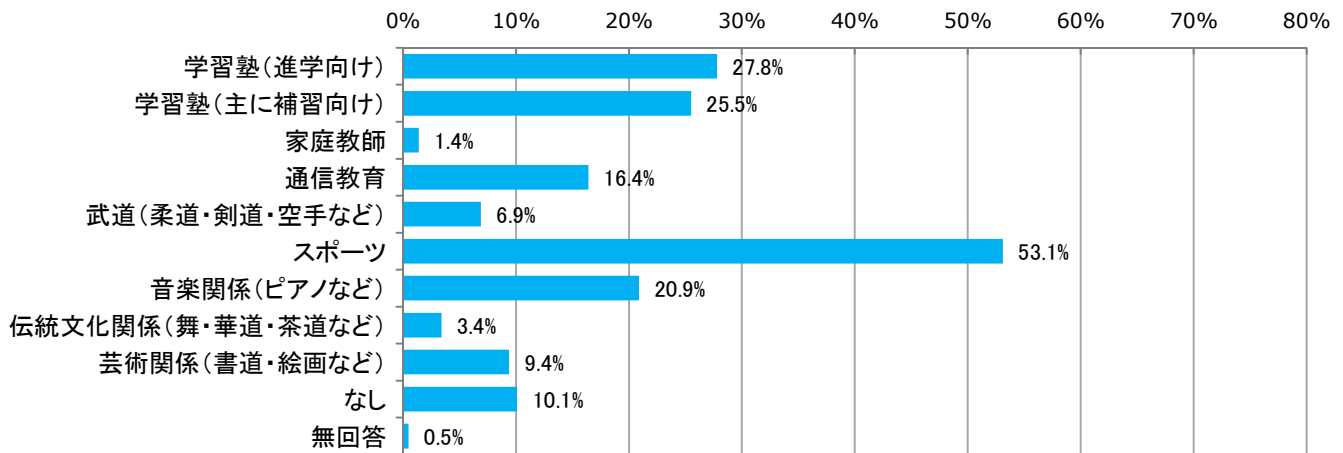
[9] 家庭での読書習慣を身に付けるようにしている。



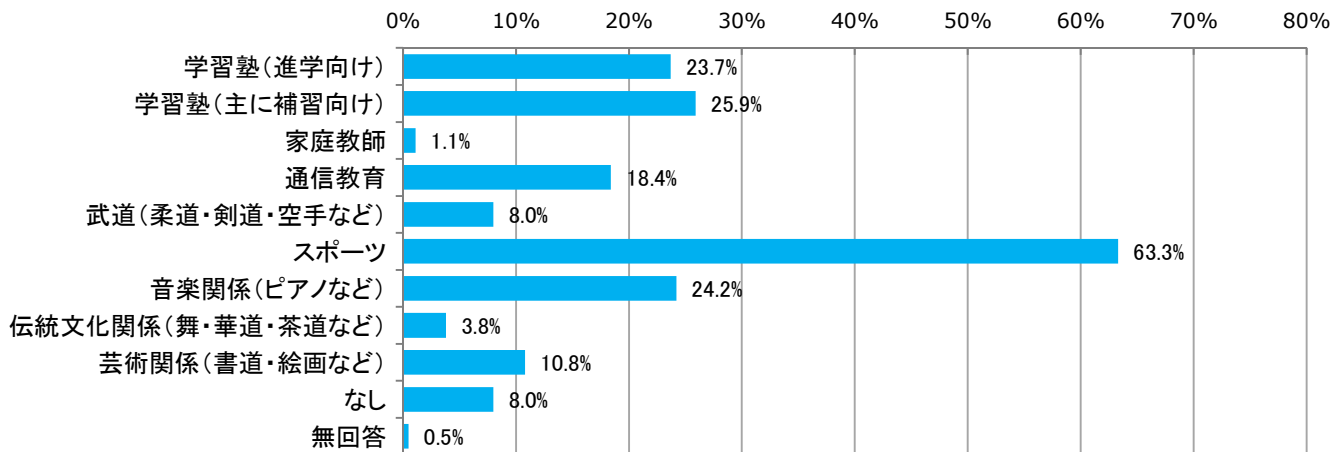
「家庭での読書習慣を身に付けるようにしている」と「肯定的な回答」をした家庭は、〔全体〕で60.3%であり、平成28年度の48.2%に比べ、12.1ポイント上昇している。ただし、「肯定的な回答」の割合は、〔7～9年〕は50%を下回る。

[10] どのような塾や習い事をしていますか。現在行っているものをすべて選んでください。

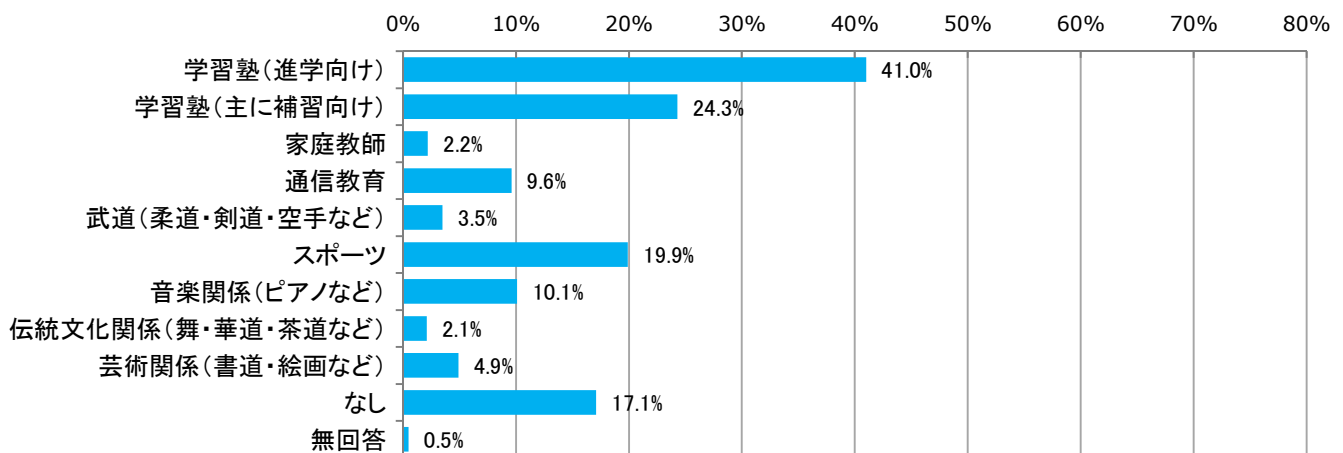
〔全体〕



〔1～6年〕

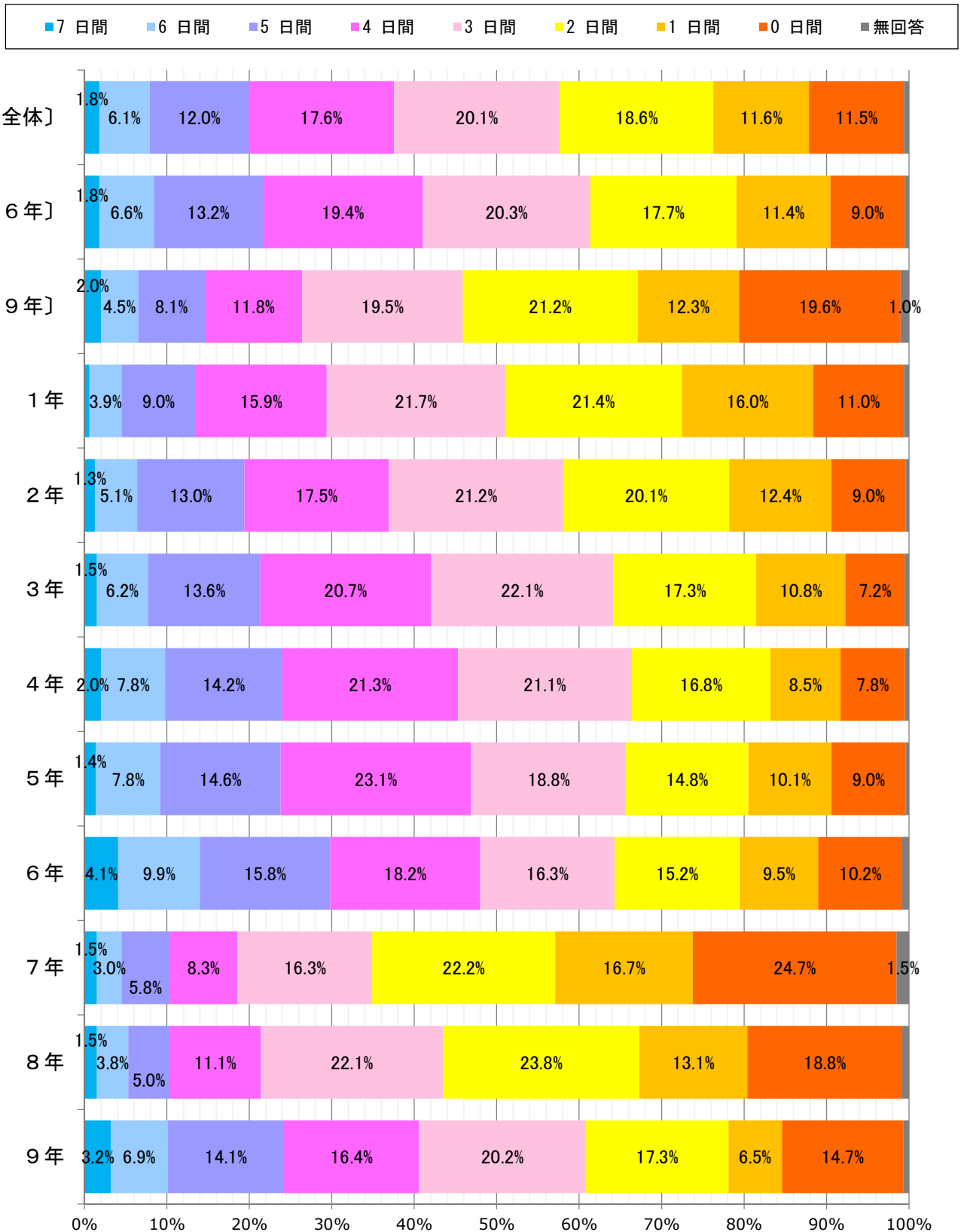


〔7～9年〕



塾や習い事のうち最も多いのは、〔1～6年〕では「スポーツ」、〔7～9年〕では「学習塾(進学向け)」である。「学習塾(進学向け)」に通わせている家庭の割合は、〔全体〕で27.8%であり、〔1～6年〕では23.7%、〔7～9年〕では41.0%である。一方、「学習塾(主に補習向け)」に通わせている家庭の割合は、〔全体〕で25.5%であり、〔1～6年〕、〔7～9年〕ともに25%程度である。

[11] 1週間のうち、塾や習い事に何日間行っていますか。

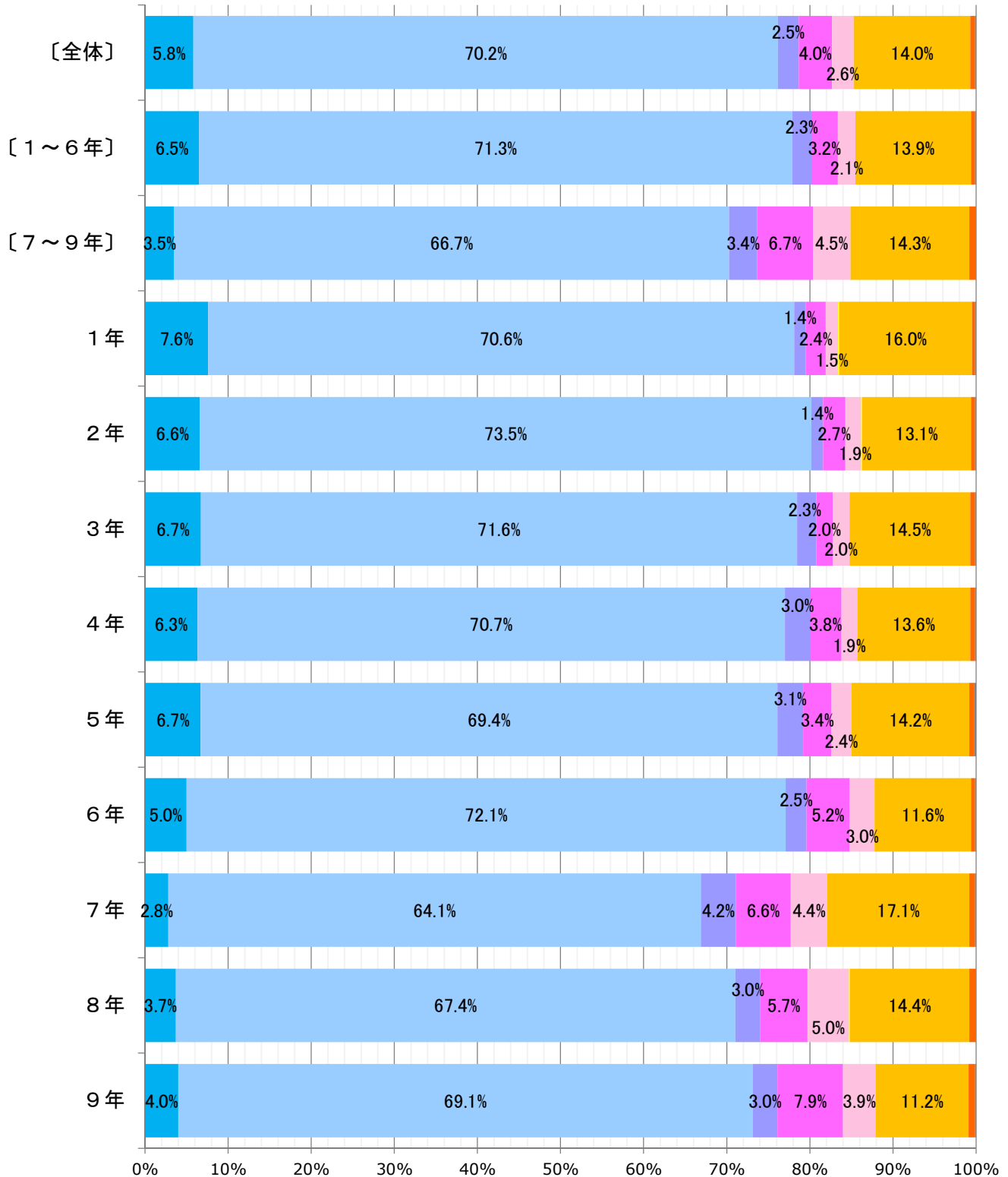
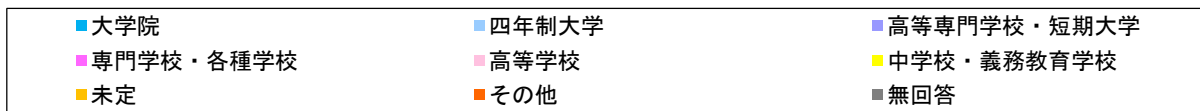


「1週間のうち、塾や習い事に行かせている日がある」家庭の割合は、〔全体〕では、87.8%、〔1～6年〕は90.4%、〔7～9年〕は79.4%である。

【学年別】 1年 88.5% 2年 90.6% 3年 92.2% 4年 91.7% 5年 90.6%
6年 89.0% 7年 73.8% 8年 80.4% 9年 84.6%

〔1～6年〕に比べ、〔7～9年〕では塾や習い事に行かせている家庭の割合が低い。また、〔1～6年〕では、「3日」が20.3%で最も高いのに対し、〔7～9年〕では、「2日」が21.2%で最も高い。

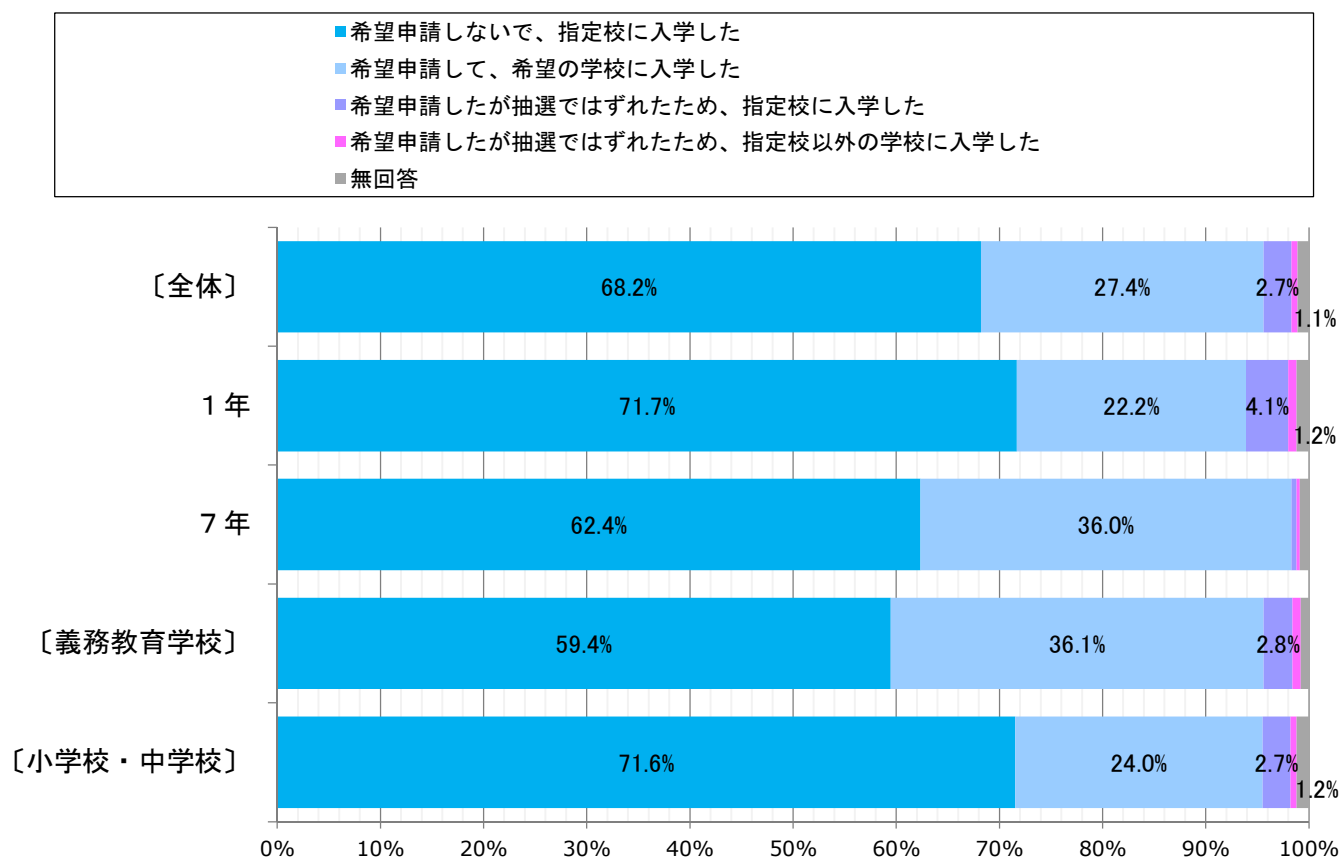
[12] 将来どこの学校まで進学するように考えていますか。



全ての学年において「四年制大学」まで進学させたいと考えている家庭が60%以上と最も高く、〔1～6年〕では77.8%、〔7～9年〕では70.2%の保護者が、「四年制大学」以上まで進学させたいと考えている。この傾向は、平成28年度と同様である。

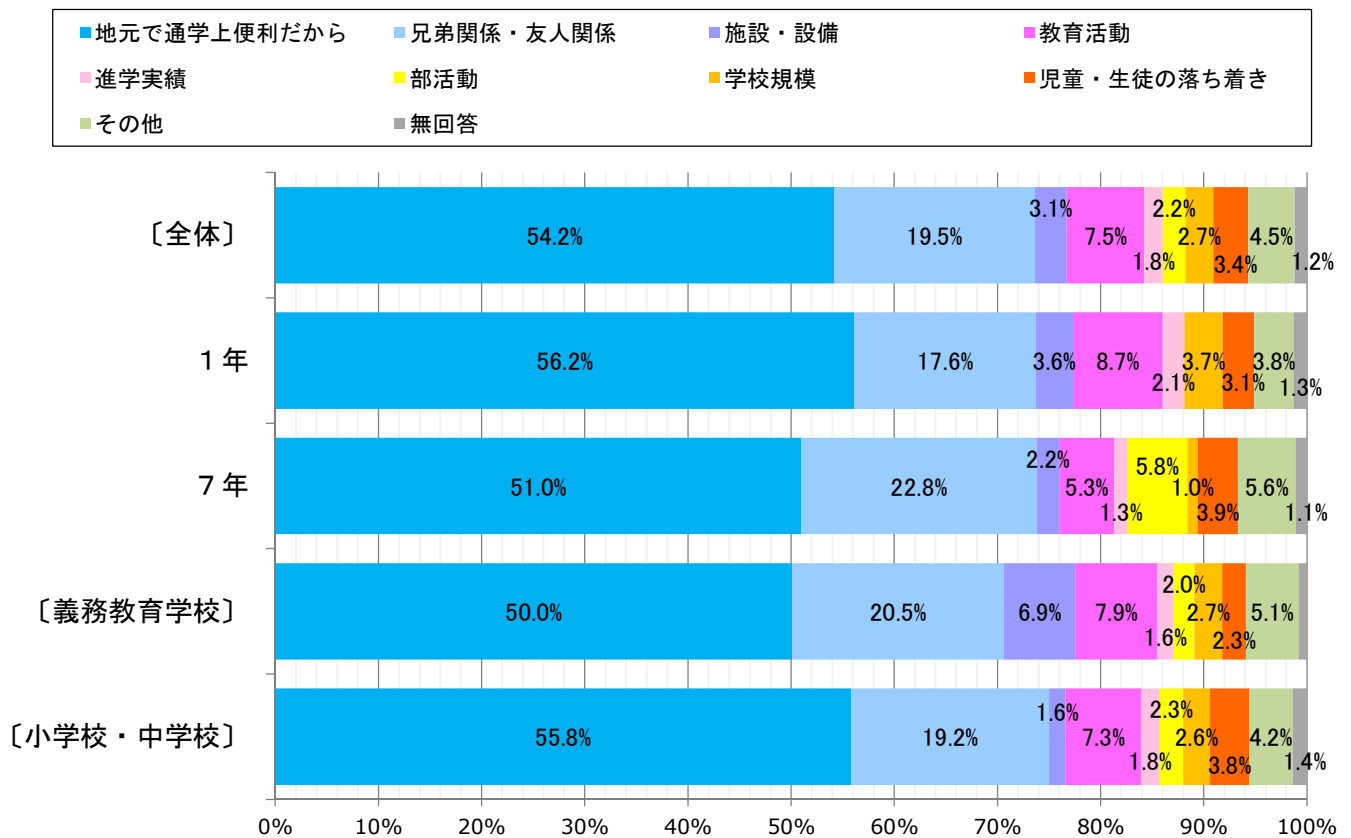
[B. 品川区の学校選択制について]

[13] 学校を選択する際、指定校以外を希望申請しましたか。また、結果どこに入学しましたか。
(1、7年のみ)



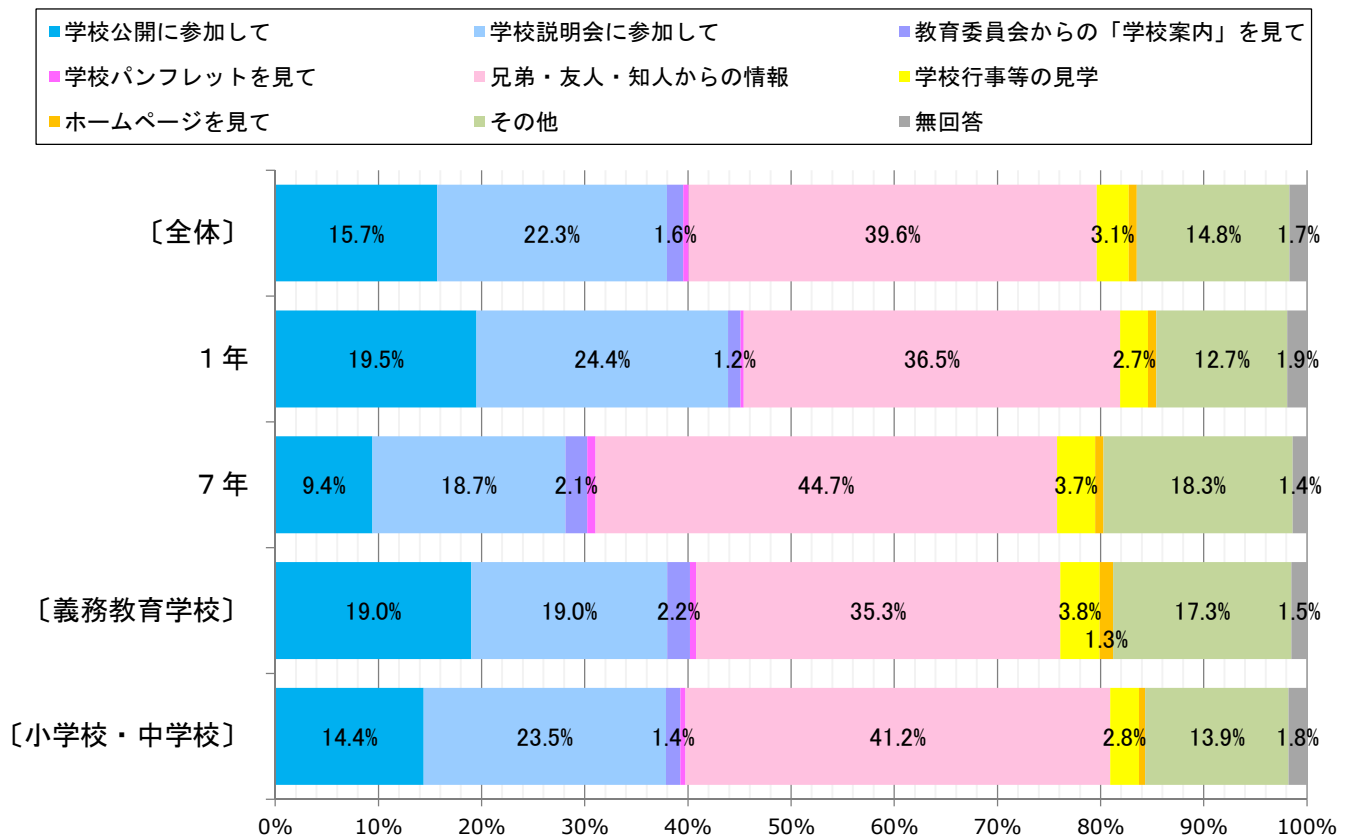
学校選択制を利用し「希望申請して、希望の学校に入学した」割合は1年が22.2%、7年が36.0%である。また、「希望申請しないで、指定校に入学した」の割合は、〔小学校・中学校〕のほうが〔義務教育学校〕より高い。

[14] 学校を選択する際、最も重視したことを1つだけ選んでください。(1、7年のみ)



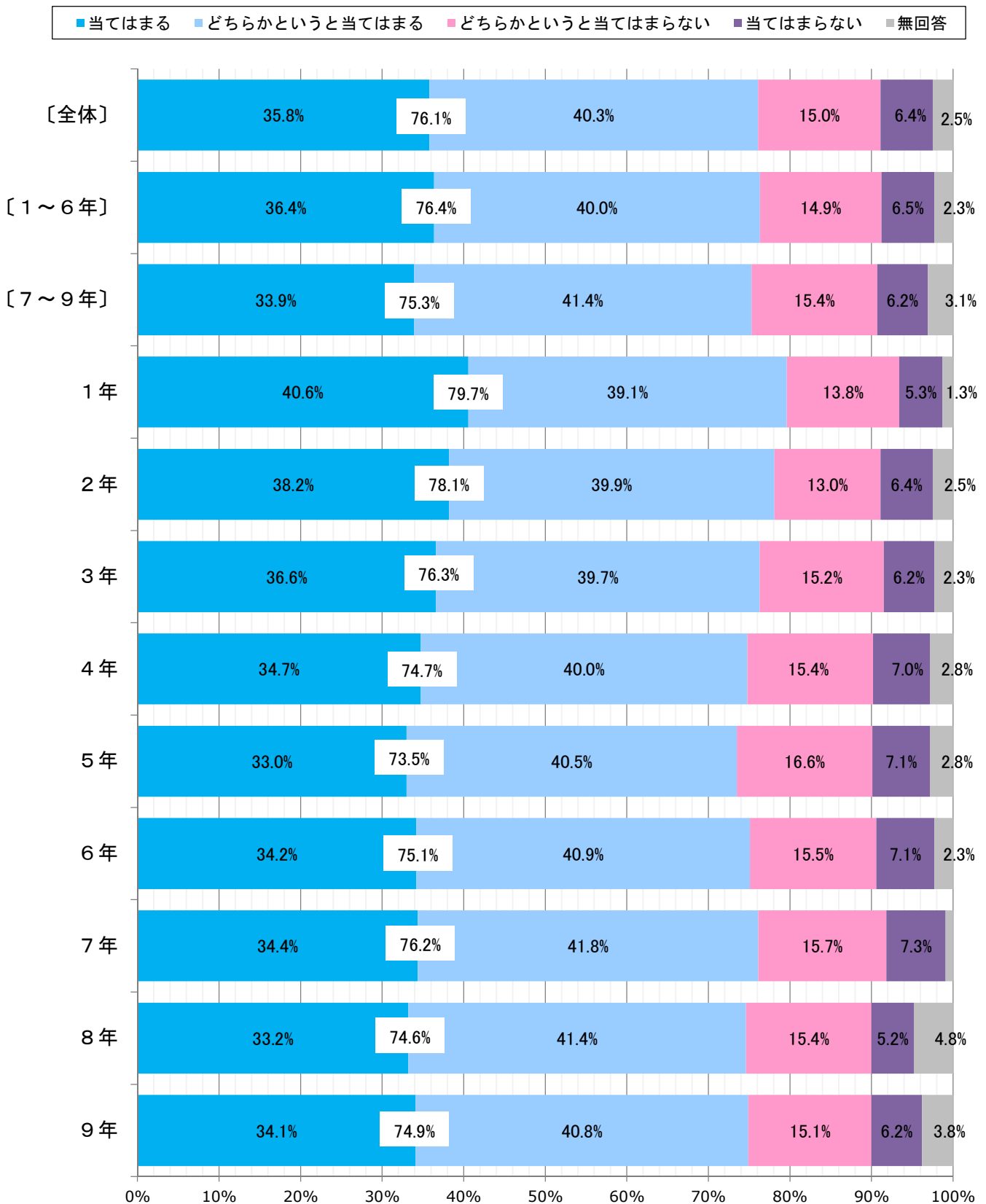
学校を選択する際、最も重視したことは、「地元で通学上便利だから」が1年で56.2%、7年で51.0%と最も高い。次いで、「兄弟関係・友人関係」が1年で17.6%、7年が22.8%である。「施設・設備」を重視した割合は、〔小学校・中学校〕より〔義務教育学校〕のほうが高い。

[15] 学校を選択する際、最も重視した情報を1つだけ選んでください。（1、7年のみ）



学校選択をする際、最も重視した情報は、「兄弟・友人・知人からの情報」が1年で36.5%、7年で44.7%と最も高い。また、いずれの校種も「兄弟・友人・知人からの情報」を重視した割合が最も高い。

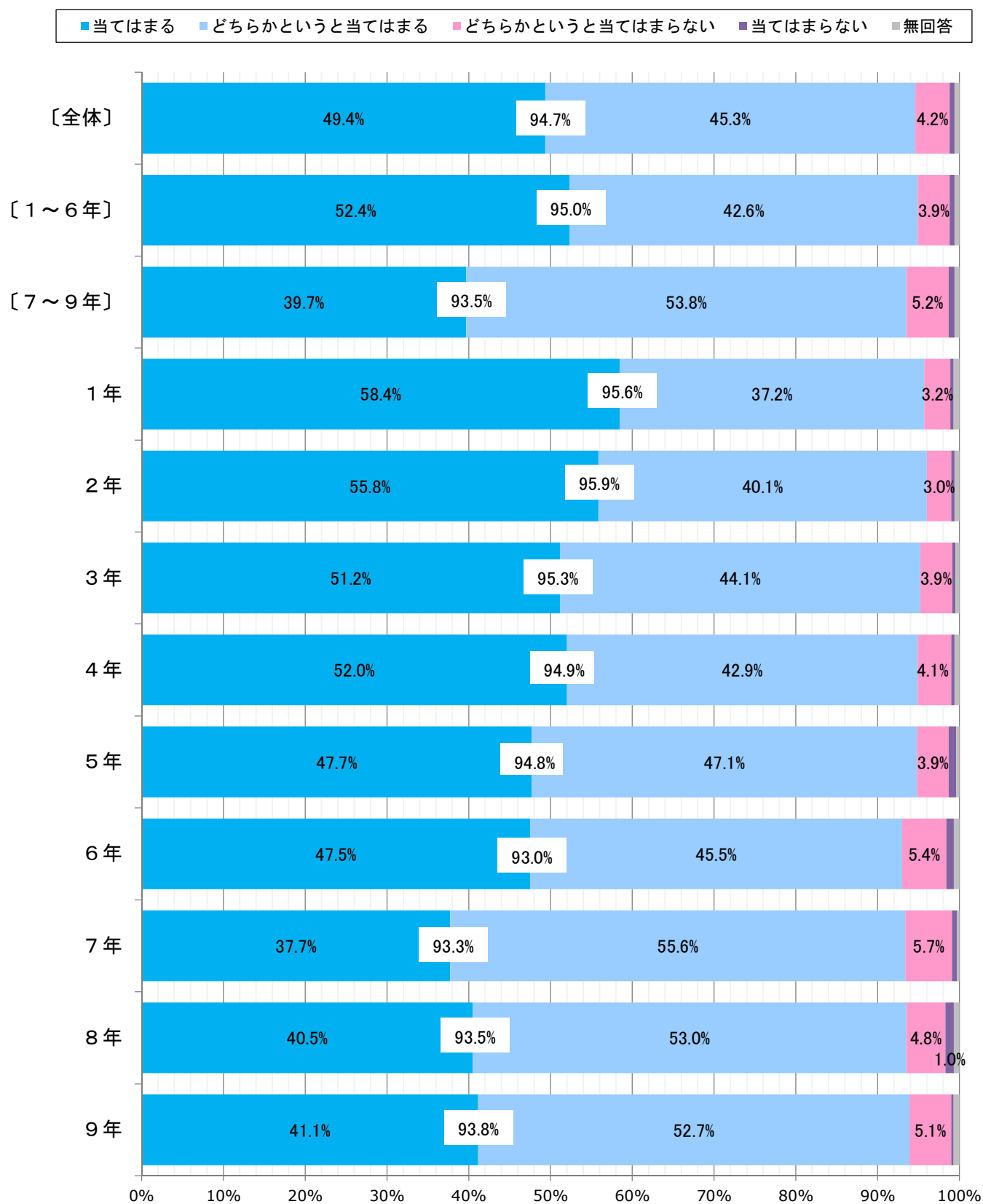
[16] 学校選択は良い制度だと思う。



「学校選択は良い制度だと思う」と「肯定的な回答」をした家庭は、〔全体〕で76.1%であり（平成28年度 74.4%）、〔1～6年〕は76.4%、〔7～9年〕は75.3%である。学年による差や特徴的な傾向は見られなかった。

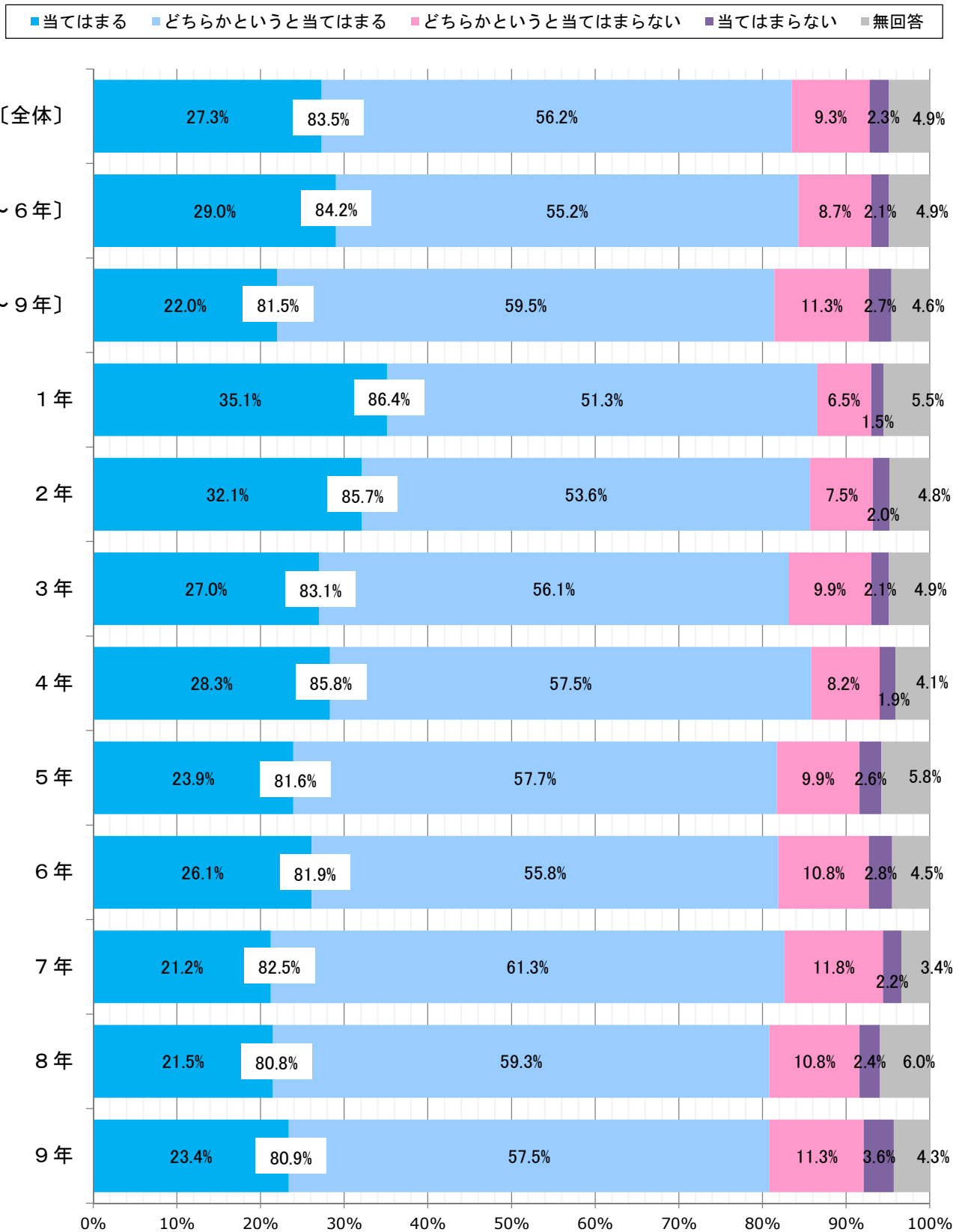
[C. お子さんが通っている学校と地域との連携・協働について]

[17] お子さんの通っている学校は、地域と連携している。



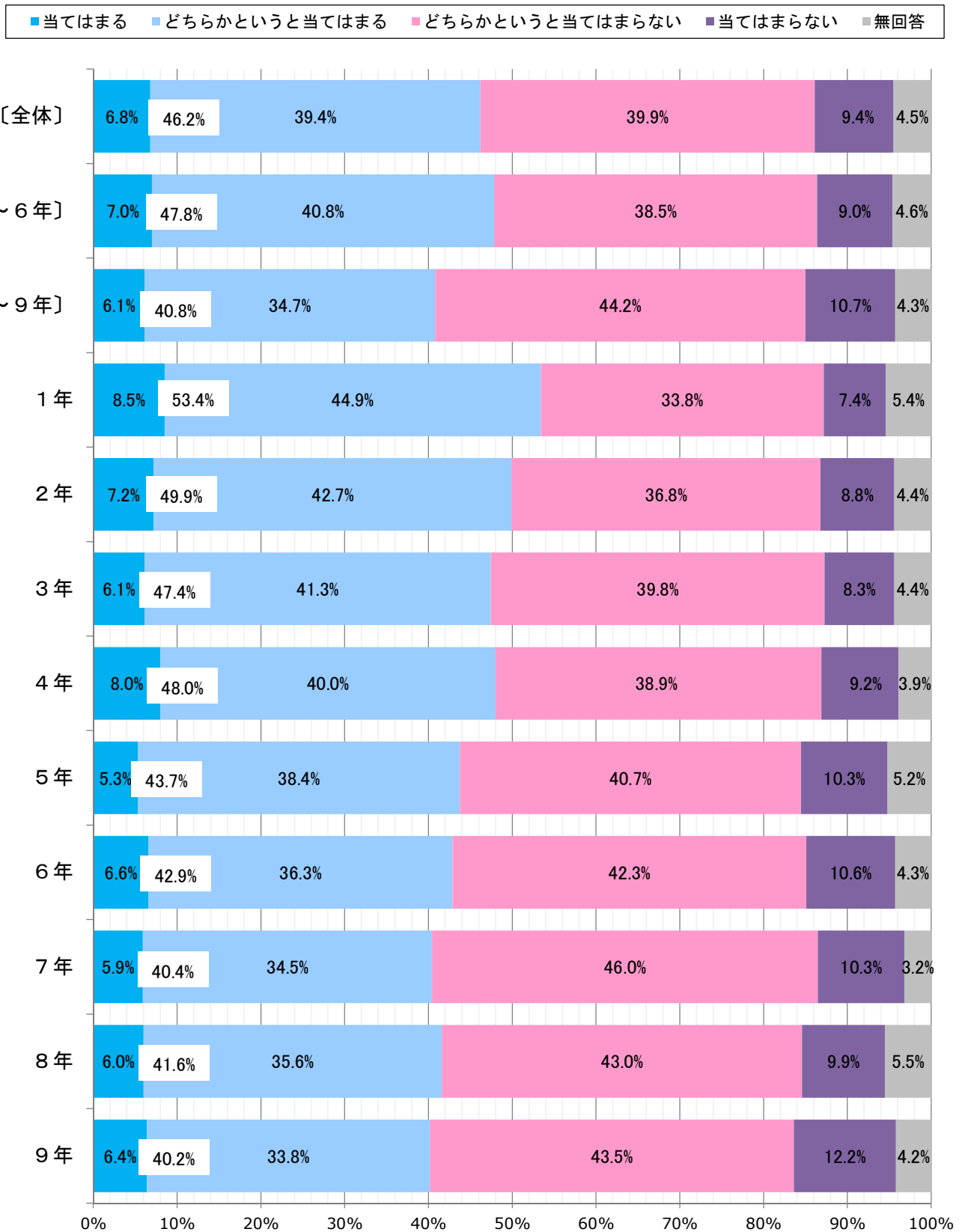
「子どもが通っている学校は、地域と連携している」と「肯定的な回答」をした家庭は、[全体]で94.7%であり（平成28年度 92.0%）、全ての学年で「肯定的な回答」の割合が93%以上である。

[18] 品川コミュニティ・スクールは良い取組だと思う。



「品川コミュニティ・スクールは良い取組だと思う」と「肯定的な回答」をした家庭は、〔全体〕で83.5%であり、〔1～6年〕は84.2%、〔7～9年〕は81.5%である。また、各学年、無回答が5%程度ある。

[19] お子さんが卒業しても、品川コミュニティ・スクールなどの教育活動に協力しようと思う。

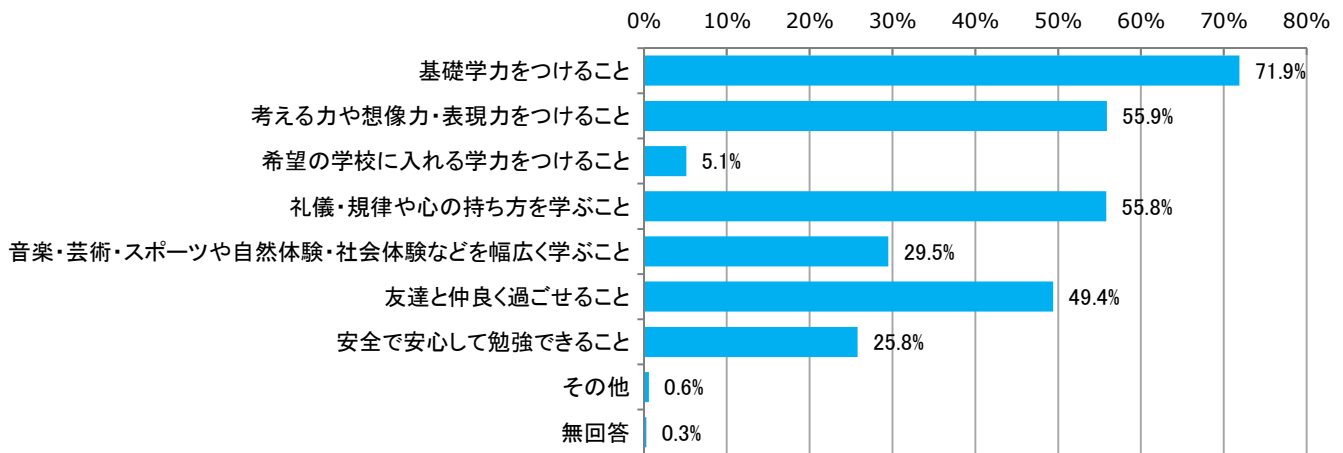


「子どもが卒業しても、品川コミュニティ・スクールなどの教育活動に協力しようと思う」と「肯定的な回答」をした家庭は、〔全体〕で46.2%と半数以下であり、〔1～6年〕は47.8%、〔7～9年〕は40.8%である。

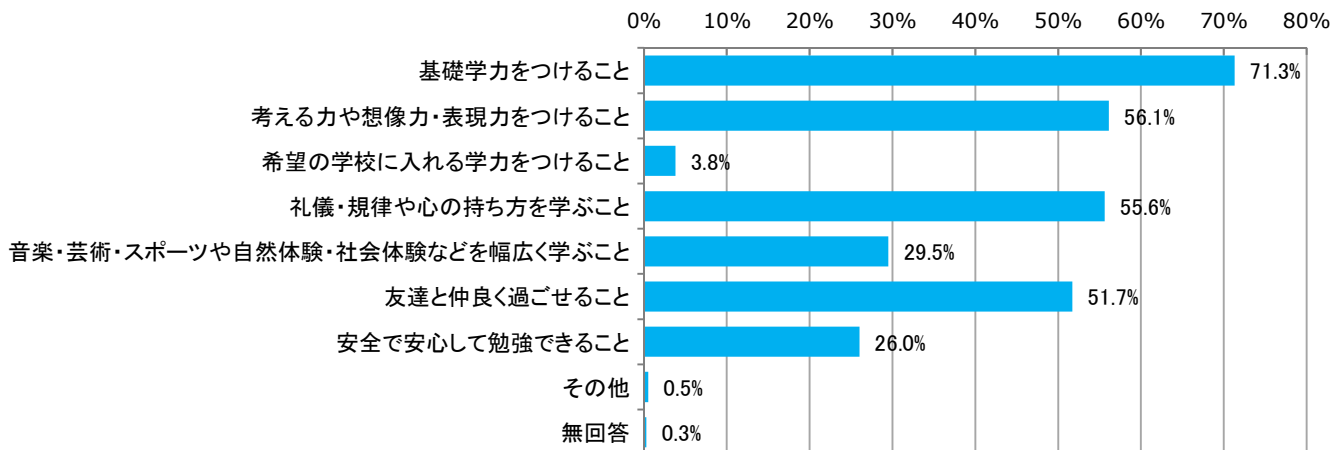
[D. 品川区の教育施策について]

[20] 義務教育段階で重要だと思うことは何ですか。3つまで選んでください。

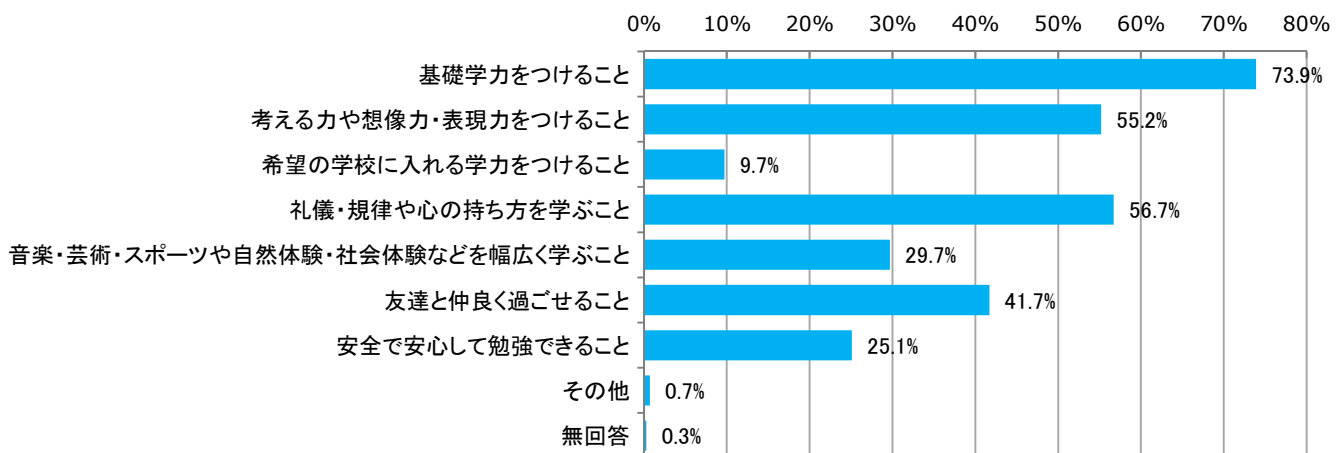
[全体]



[1～6年]

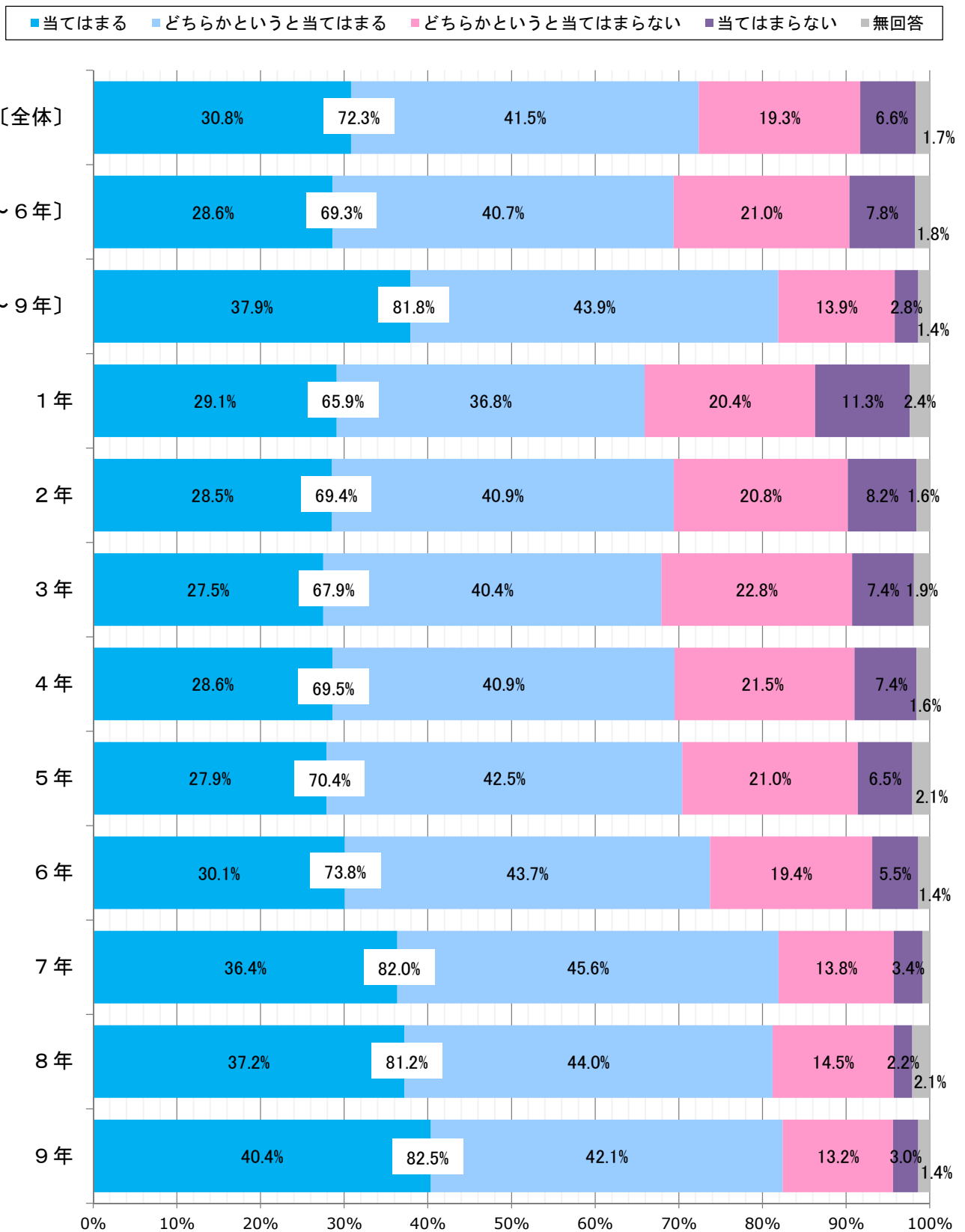


[7～9年]



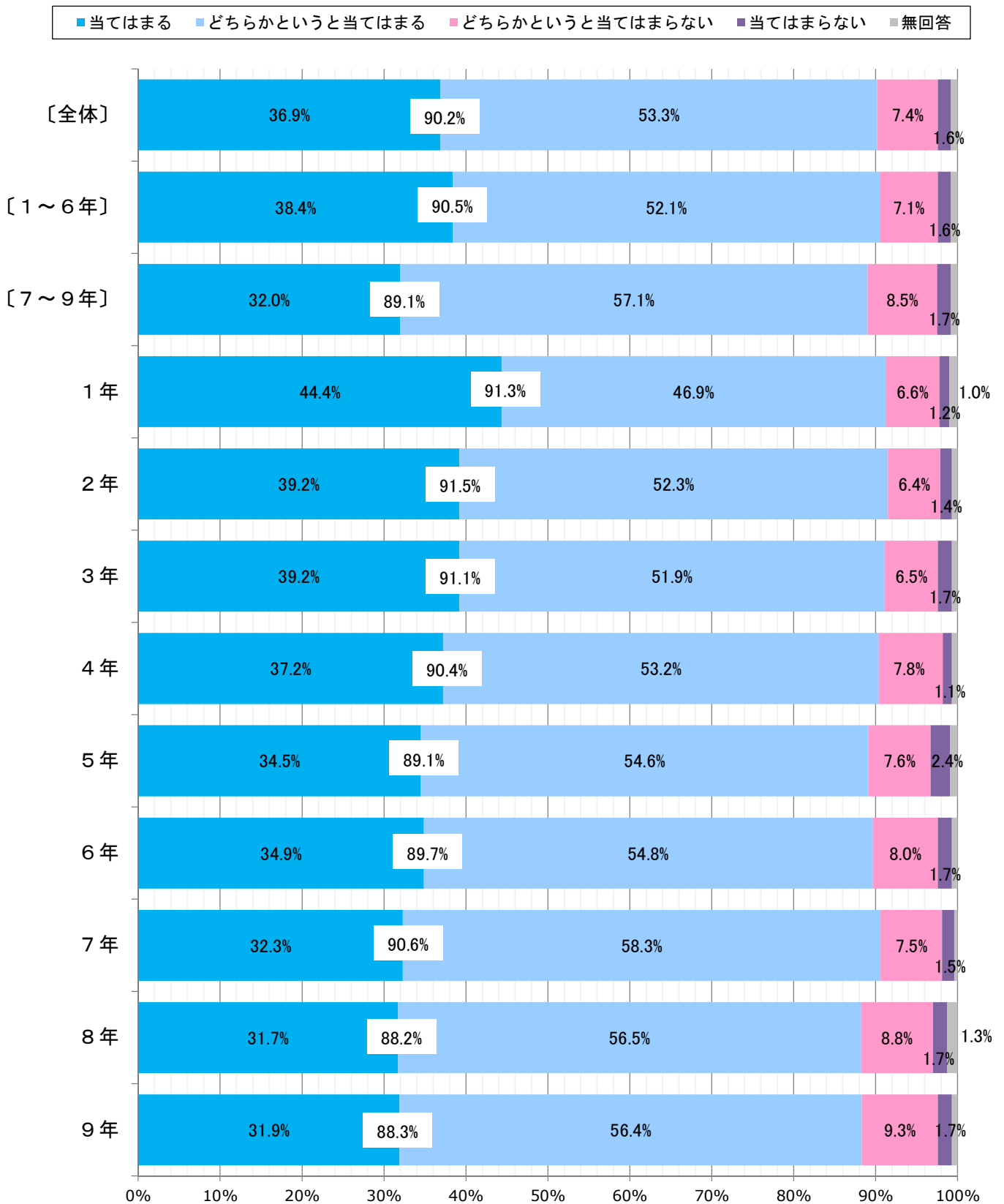
〔1～6年〕、〔7～9年〕ともに「基礎学力をつけること」が最も高く、〔全体〕で70%を超える。次いで、「考える力や想像力・表現力をつけること」や「礼儀・規律や心の持ち方を学ぶこと」が高くなっている。

[21] お子さんの通っている学校は一貫教育を推進している。



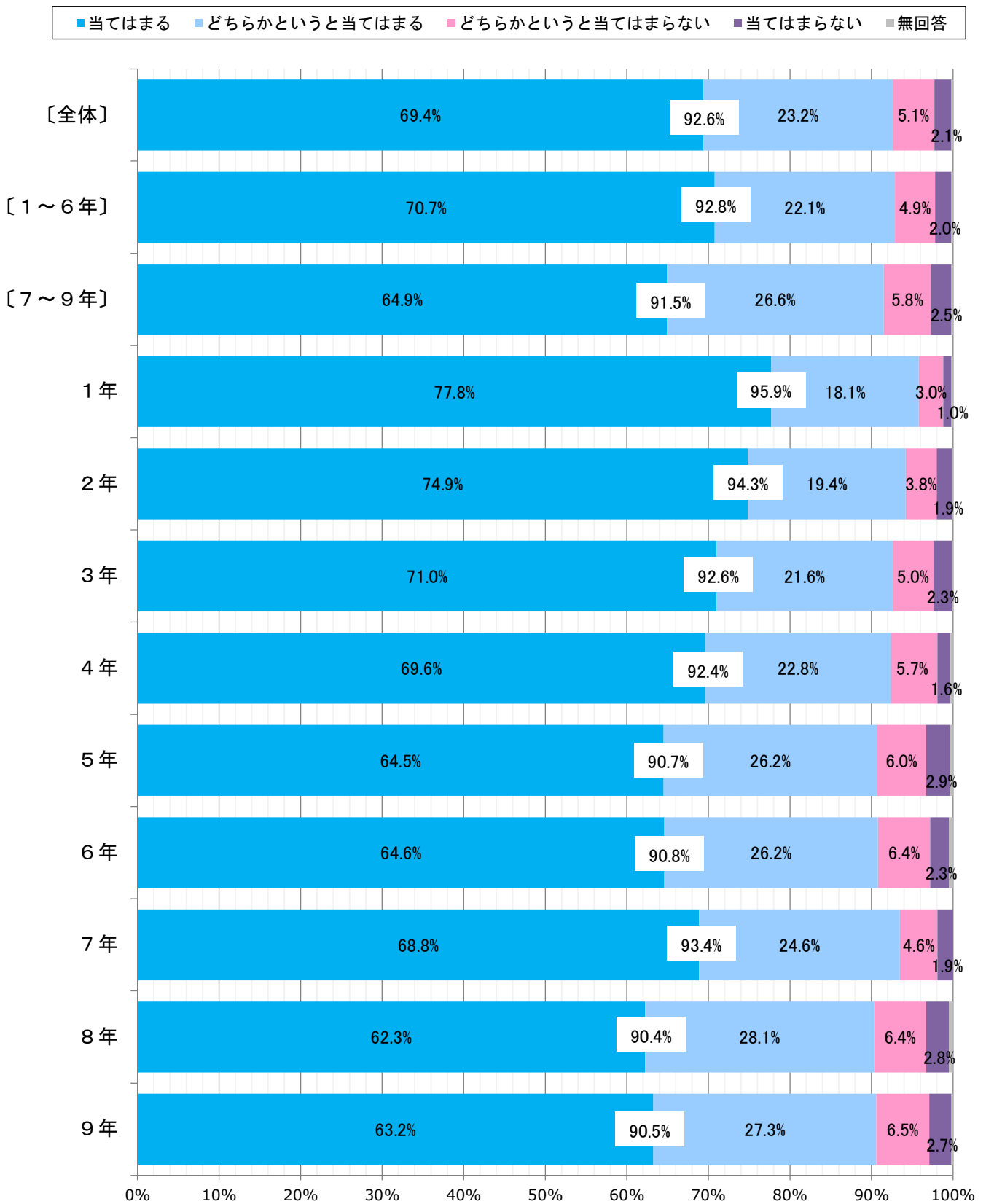
「子どもが通っている学校は一貫教育を推進している」と「肯定的な回答」をした家庭は、〔全体〕で72.3%である。学年が上がるほど、「肯定的な回答」の割合が高くなる傾向がある。

[22] 独自教科である市民科は、良い学習だと思う。



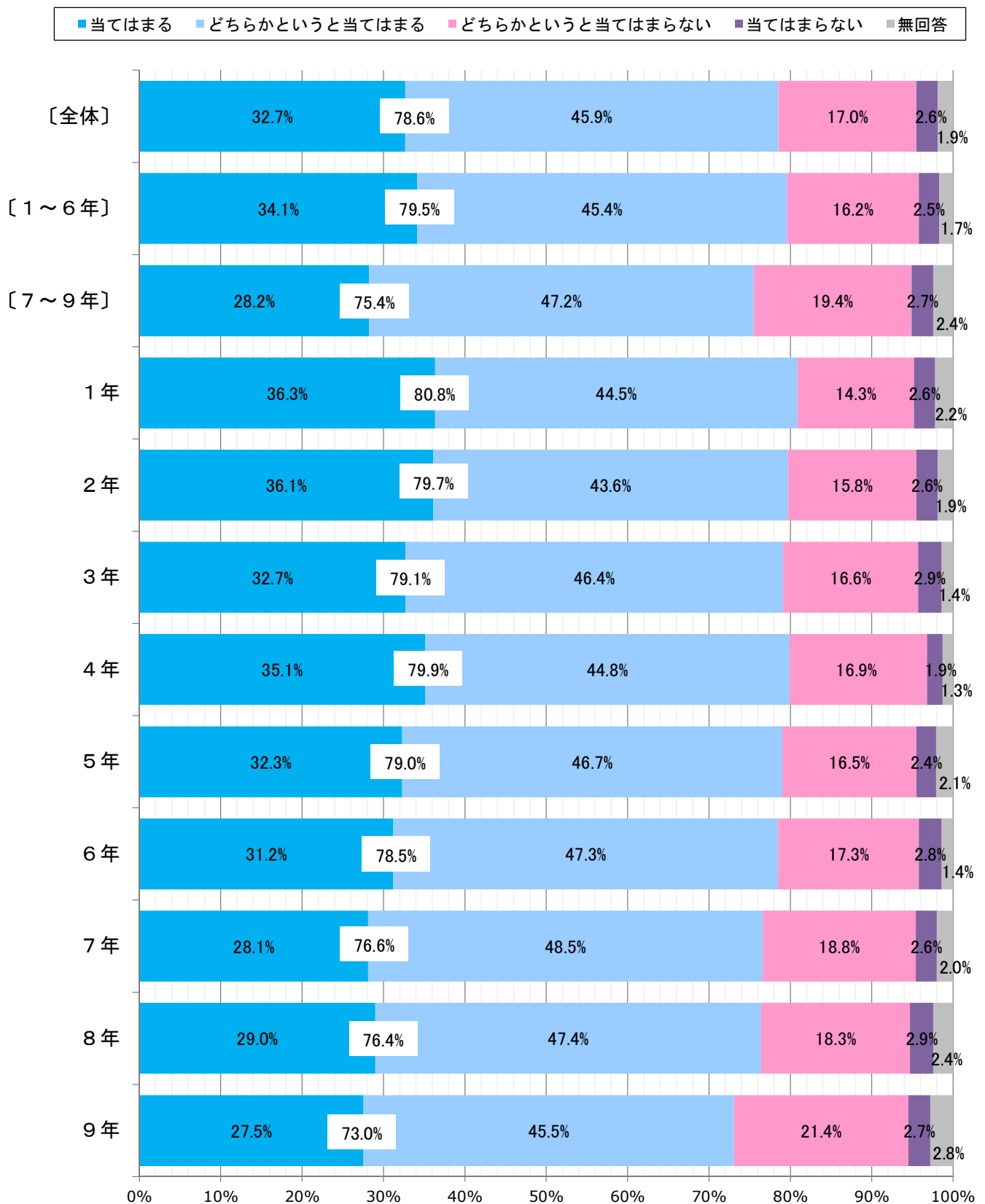
「独自教科である市民科は、良い学習だと思う」と「肯定的な回答」をした家庭は、〔全体〕で90.2%であり、平成28年度の83.5%を上回った。全ての学年で「肯定的な回答」の割合は、88%を超えている。

[23] 1年生からの英語学習は良いことだと思う。



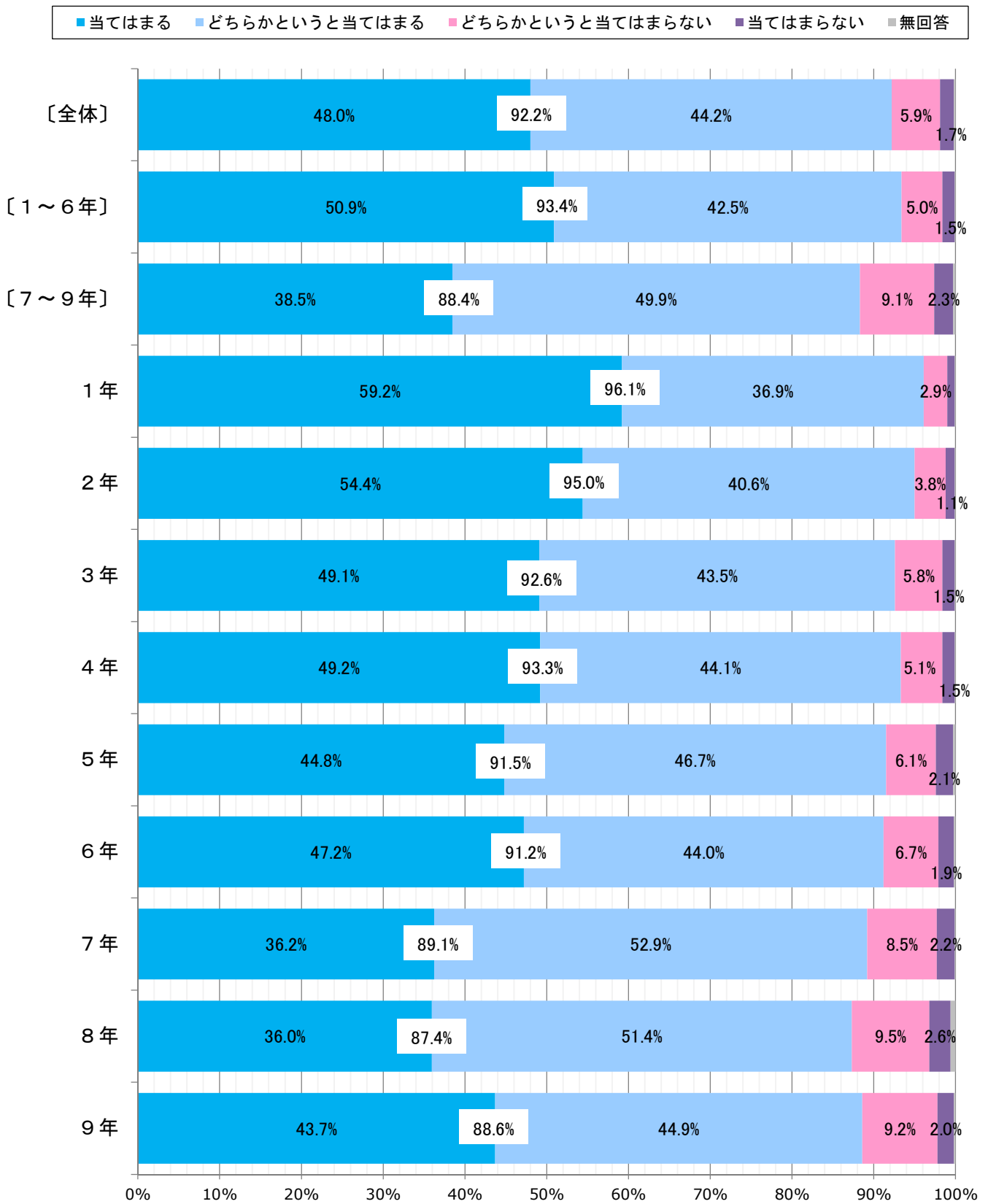
「1年生からの英語学習は良いことだと思う」と「肯定的な回答」をした家庭は、〔全体〕で92.6%である。また、全ての学年で「肯定的な回答」の割合が90%を上回った。

[24] お子さんの通っている学校は、オリンピック・パラリンピック教育を推進している。



「子どもが通っている学校は、オリンピック・パラリンピック教育を推進している」と「肯定的な回答」をした家庭は、〔全体〕で78.6%であり、全ての学年で「肯定的な回答」の割合が70%を上回っている。また、平成29年度オリンピック・パラリンピック教育アワード校では、「肯定的な回答」の割合が95%を超えている。

[25] 現在通っている学校に満足している。



「現在通っている学校に満足している」と「肯定的な回答」をした家庭は、〔全体〕で92.2%である（平成28年度 91.0%）。